

**県南地域の本田でクモヘリカメムシが多く確認されています！
また、残草している本田ではカスミカメムシ類幼虫も多く確認されています！
水稻の生育に合わせ、適期防除を徹底しましょう！**

1 作物名 水稻

2 発生現況

- (1) 8月上旬の本田における調査の結果、県南地域でクモヘリカメムシのすくい取り虫数が平年より多く確認された(図1)。
- (2) また、イヌホタルイが残草している地点では、県内全域でカスミカメムシ類幼虫が多く確認された。

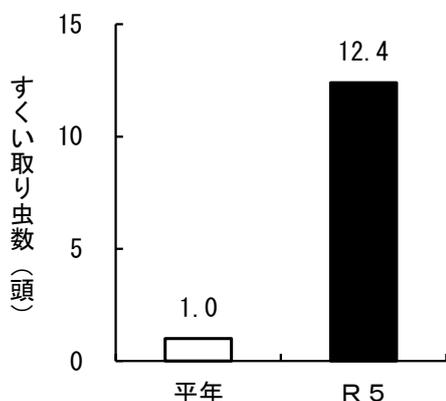


図1 本田におけるクモヘリカメムシのすくい取り虫数(県南地域、8月上旬)



写真1 クモヘリカメムシ

3 防除のポイント

- (1) 注意報第1号(7月24日発表)。
<https://www.pref.miyagi.jp/documents/45756/r05chuiho01.pdf>
- (2) 防除情報第5号(8月4日発表)。
<https://www.pref.miyagi.jp/documents/45756/r05bojono05.pdf>
- (3) 水田における薬剤防除は、穂揃期とその7~10日後の2回防除が基本である。出穂が遅れているほ場や晩生品種については、ほ場の出穂状況に注意し、適期防除を実施する。
- (4) 穂揃期以降、薬剤防除を実施していないほ場では、直ちに薬剤防除を実施する。
- (5) ヒエやイヌホタルイが残草しているほ場では、斑点米カメムシ類の幼虫及び成虫の加害により斑点米被害リスクが高まることから、必要に応じて追加防除を実施する。
- (6) クモヘリカメムシは本田に越冬世代成虫が侵入し、その後1世代を経過する。クモヘリカメムシの発生地域で「つや姫」等の晩生品種を作付けする場合は被害リスクが高くなる可能性があるため、適期防除を実施する。

※普及に移す技術第92号参考資料「クモヘリカメムシの発生生態」

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/20202/621917.pdf>

- (7) ジノテフラン液剤(スタークルメイト液剤 10 等)とエチプロール水和剤(キラップフロアブル)はアカスジカスミカメに対する防除効果が高く、特に、ジノテフラン液剤は残効が長く、2週間程度は発生密度を抑制することができる(主な薬剤は表1を参照)。
 ※普及に移す技術第 93 号参考資料「アカスジカスミカメの多発条件下における殺虫剤による茎葉散布処理の効果」https://www.pref.miyagi.jp/documents/8592/685973_2.pdf
- (8) 水田周辺の畦畔や雑草地の草刈りを行うと、成虫を水田内に追い込み斑点米被害を助長するため、8月中は原則行わない。やむをえず草刈りを行う場合は、草刈り後直ちに水田への薬剤防除を実施する。

表1 斑点米カメムシ類対象の主な薬剤(『宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』より)

IRACコード	薬剤名	無人航空機での登録
1B	スミチオン乳剤	○
	スミチオン粉剤3DL、エルサン乳剤、エルサン粉剤2	
1A/1B	エルサンバッサ粉剤20DL	
2B	キラップフロアブル	○
	キラップ微粒剤F、キラップ粉剤DL	
3A	トレボンEW、トレボン粉剤DL	
4A	スタークル液剤10、スタークルメイト液剤10、スタークル1キロH粒剤、スタークルメイト1キロH粒剤	○
	スタークル粒剤、スタークル顆粒水溶剤、スタークル粉剤DL、アルバリン粒剤、アルバリン顆粒水溶剤、アルバリン粉剤DL	
4A/UN	オーケストラスタークルエアー	○
3A/4A	スタートレボンW10	○
4C	エクシードフロアブル	○
	エクシード粉剤DL	

※令和5年8月8日現在の登録内容

農薬危害防止運動実施中！(6月1日～8月31日まで)



農薬危害防止運動
リーフレット

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail: byogai@pref.miyagi.lg.jp

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で
発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所
トップページ



メルマガ
登録フォーム